

1 国（地域）名：カナダ（アルバータ州）

2 選挙権年齢（被選挙権年齢）と成人年齢

カナダでは、選挙権年齢（被選挙権年齢）や成人年齢(Age of Majority)、さらには飲酒や喫煙、運転免許取得などが認められる法的な年齢（Legal Age）は、州・準州（ただし、準州に関しては、連邦直轄であるため基本的に連邦の規定に準じている。）によって規定されているが、概ね 18 歳あるいは 19 歳となっている。アルバータ州に関しては以下の通りである。

- (1) 選挙権年齢・法改正年：18 歳・1970 年
- (2) 被選挙権年齢・法改正年：18 歳・1970 年
- (3) 成人年齢・法改正年：18 歳・1980 年

3. 社会系教科目の構造

(1) カナダ・アルバータ州の学校教育制度

学校教育制度についても、カナダでは州・準州ごとに異なっている。その中でアルバータ州は、日本と同じ 6・3・3 制をとっており、義務教育は 6 歳（1 学年；以下 G1）から 17～18 歳（G12）までとなっているが、飛び級もあるため、年齢は必ずしも統一されない。公立校であれば、小学校から高等学校まで入学金や授業料は不要である。なお、幼稚園（K）から各科目のカリキュラムは始まっている。

(2) 社会系教科目の構造

アルバータ州は K から G12 まで一貫した、総合的な社会科カリキュラムとなっている。歴史・地理・生態・経済・法・政治・哲学やその他さまざまな社会諸科学を基盤とした学際的な教科であることが重視されている（Alberta Education, 2005, p.1）。したがってその構造は、シティズンシップを中核目標とする総合的な社会科であり、さまざまな諸社会科学の学問分野の上に描かれる学際的かつ探究的な構造となっている。その役割は、お互いとの関係性の中にある人間や彼らの住む世界について学習することであり、人間の営み(社会問題)を知り、その問題の歴史や問題性の理解をさまざまな学問分野の成果から子どもたち自らが探究することで、多面的な社会認識を育み、多岐にわたる分野の知識や技能を有機的に習得することを重視している。それは特に、多様性を尊重しながら共生する社会における民主的な生活を営む上で不可欠な基礎的資質・能力であるとともにプロセスである。そこでアルバータ州では、時事問題や論争的な問題を探究する過程でさまざまな学びを得るとともに、広げ深めることに重点を置く【Issues-Focused Approach】という手法によって社会科の学習を組織している。すなわち、批判的なふりかえり、問うこと、意思決定および問題に関する多様なパースペクティブの検討を通じて、メタ認知を促進するよう設計されている。そのような学習のプロセスを通して、生徒が現在の世界を理解し、説明し、将来どのような世界を望むのかを判断するよう努めることを目指している（Alberta Education, 2005, pp.5-6）。

具体的な構造としては、「シティズンシップ」と「アイデンティティ」という二つの概念に関連した内容領域を核として、「時間、継続と変化」「土地：場所と人びと」「権力、権威および意思決定」「経済と資源」「地球的つながり」「文化とコミュニティ」という六つの内容領域を加えた八つの内容領域によって構成されている。

G9 すなわち中学 3 年生までは基本的に共通の内容であるが、高等学校からは、卒業後の選択

肢（例えば、カナダの大学（University）へ進むのであれば、30-1が必修であり、カレッジへ進むのであれば、30-2でも可といった具合）に合わせて学習内容や到達目標、学習内容の難易度が異なる、主に二つのコースの中から選択必修となっている。なお、アルバータ州では、他の州のように、Social Studies10, Social Studies11, Social Studies12のように学年に対応した表記ではなく、10, 20, 30とレベル分されている。基本的には10=G10・高校1年生、20=G11・高校2年生、30=G12・高校3年生レベルと解釈してよい。学年の横についている-1、-2によって、同じ学年の同じ科目でも難易度でレベル分けされている。

4. 公民系教科目の教育目標・教育内容

(1) 目標・内容

アルバータ州の社会科の最終的なねらいは子どもたちの「所属感や受容感を促進し、活動的及び責任あるシティズンシップに従事する意識を促進すること」である。すなわち、個々に異なるアイデンティティを重視し子どもたちに彼らの居場所感を与え、それらをまた助長することで子どもたちの社会への所属意識や受容感を持たせ、社会を担いその社会の統合を目指す意識や意思としてのシティズンシップを育成することが重視されていると言える。また、「市民であるという感覚、個および集団の権利ならびに現代社会における公平な地位を享受することは、個々のアイデンティティの感覚に影響を与える。人びとは、彼らが公共善に貢献できるか否かに関わらず、彼らのアイデンティティが正当なものであると見なされていると感じることが必要であるし、また、所属意識や市民として権限を与えられていると感じることが必要である」として、「シティズンシップ」と「アイデンティティ」の繊細で動的な性質を、スキルおよび学習内容の基盤として重視している。つまり、シティズンシップを身につけ、現実的に行動に起こす市民を育成するために、彼ら一人ひとりの多様で多元的なアイデンティティの受容と促進を重視し、そうすることでカナダやアルバータ州、ならびに身近な地域などさまざまな社会において活動的で責任あるシティズンシップを発揮できるよう育てることを目指している。

(2) コンピテンシー

アルバータ州では、学習成果を「価値および態度」「知識および理解」「スキルおよびプロセス」の三つの観点で評価する。「スキルおよびプロセス」とは具体的に、「多様な思考法」「民主主義の実践としての社会参加」「熟議的探究のための調査」「コミュニケーション」の四つの観点に分かれている。

獲得されるべき「価値および態度」とは、「変化する多元的な社会に市民として積極的かつ責任を持って参加できるようにする価値観と態度」であり、その「態度」とは、問題や話題に関する価値観や信念の表れであり、地域・国家・グローバルなコミュニティにおけるシティズンシップとアイデンティティの基本として、尊敬・個人的および集団的責任の感覚・人間の相互依存の認識や、自己・他者・自然界に対するケアの倫理を持ち、それを発展させることが目指されている。また、獲得されるべき「知識および理解」とは、情報に基づいた意思決定の基本となるものとして重視されており、広くかつ深い情報・概念・証拠・アイデア・意見を獲得することが目指されている。

(3) 評価

アルバータ州では、小学校段階の最終学年である G6 と中学校段階の最終学年である G9

でそれぞれ、州统一到達度テスト (Provincial Achievement Test、以下 PAT) を受けることとなっている。また、高等学校の卒業要件として最終学年である G12 の最終学期末にディプロマ・テスト (Diploma Test) を受け、50%以上の成績を収めなければならない。ちなみに、このディプロマ・テストのある G12 の科目で 50%の成績を取るためには、普段の授業での成績とディプロマ・テストの点数の両方から判定される。その割合は、70% : 30%である。5ヶ月間授業を受けて、課題を提出して得た点数が 7 割、ディプロマ試験の点数の割合が 3 割で、その合計が 50%以上であれば単位取得ということとなる。

ア G6 の PAT に見るアルバータ州社会科が目指す主権者教育

G6 対象の PAT は 50 問の多肢選択問題から成る。テストは 1 時間で完了するよう作成されているが、生徒は最長 2 時間までテストにかけることができる。このテストは、“Programs of Studies”の G6 の総括的成果規準である以下の二つに基づいている。ちなみに、“Programs of Studies”とは、アルバータ州における日本で言うところの学習指導要領のようなものである。

- ・総括的成果規準 6.1 : 意思決定に参加する市民
- ・総括的成果規準 6.2 : 民主主義の歴史的モデル : 古代アテネとイロコイ連合

知識および理解とスキルおよびプロセスがこの多肢選択テストに統合されている。知識および理解のカテゴリーでは、生徒は一般化、概念、関連する事実、内容を理解する能力についてテストされる。問いに答える際に生徒が使用することを期待されるスキルおよびプロセスには、批判的および創造的思考、歴史的および地理的思考、意思決定と問題解決、調査スキル、筆記リテラシー (written literacy)、およびメディア・リテラシーが含まれる。価値および態度に関しては、授業中の分脈において評価されることとなっている。

PAT は【可 (Acceptable standard)】と【優 (Standard of excellence)】という二つの基準で評価される。具体的には以下のような基準である。

【可 (Acceptable standard)】	【優 (Standard of excellence)】
本プログラムの諸概念、一般化および基盤となるスキルについての基本的な理解を持ち、以下のことができる	6 年生の社会科プログラムの基礎となる概念と一般化のすべてではないにしても、ほとんどを内面化している。生徒は、市民がどのように民主主義に参加するか、また民主主義の歴史的モデルの影響について、明確かつ正確に理解している自信を持ち、以下のことができる
・民主主義の基盤となる原理を定義あるいは明示する	・民主主義の基盤となる原理について例示しながら、あるいはその知識を適用する
・民主主義における市民の権利や責任を認識する	・民主主義における市民の権利や責任について理解していることを明確にそして正確に証明する
・民主主義社会において市民はどのように活動的に参加できるか認識する	・民主主義社会において市民がどのように効果的に参加するかについて具体的な事例を示す
・地方および州政府両方の構造や機能を説明する	・地方および州政府両方の構造や機能を分析する
・民主主義の具体的な歴史的モデルの構造や機能を説明する	・民主主義の具体的な歴史的モデルの構造や機能を分析して、民主主義原理を理解していることを証明する

・地図、グラフ、表、図などを使って重要な関連する情報を見つける	・地図、グラフ、表、図などを解釈および分析して、推論を行い、結論を導き出す
・時事問題の話題を調べる際に、様々なメディア・リテラシースキルを使えることを証明する	時事問題の話題を調べる際に、一貫してメディア・リテラシースキルを適用する

Alberta Education, Provincial Assessment. (2022a) *2022-2023 Social Studies 6 Subject Bulletin*. p. 2. Minister of Education, Alberta Education.

また、以下の設計図は、各設問が分類されるカテゴリを示している。各カテゴリの設問数は公刊されている資料の最新版である 2013 年のものである。ちなみに、2023 年実施予定のものにおいては、基本的に【知識および理解】が 3、【スキルおよびプロセス】が 7 の割合で設定されている。

		知識および理解 問の数	スキル・プロセス 問の数	問の数 (%)
意思決定における市民の参加	民主主義原理と理念	5 Q1,3,7,9,10	5 Q2,4,5,6,8	10 (20)
	地方・州政府の構造と機能	5 Q13,14,15,16,19	5 Q11,12,17,18,22	10 (20)
	個人・集団・コミュニティへの参加	2 Q21,29	7 Q20,23,24,25,26,27,28	9 (18)
民主主義の歴史的モデル	古代アテネ	3 Q33,38,39	7 Q30,31,32,34,35,36,37	10 (20)
	イロコイ連合	5 Q40,41,46,47,50	6 Q42,43,44,45,48,49	10 (20)
	問の数 (%)	20 (40)	30 (60)	50 (100)

Alberta Education, Assessment Sector. (2015) *Released 2013 Achievement Test Social Studies 6 Subject Bulletin*. p.1. Minister of Education, Alberta Education.

各設問の問い方は、例え知識・理解に分類されている設問であっても、基本的には知識を問うというよりも、「判断させる」ように構成されている。ここでは紙幅の関係上、知識・理解のカテゴリの内容に焦点を当てて紹介する。例えば、知識・理解を確認する設問である Q1 では「権利および自由に関するカナダ憲章が保障する次の権利または自由のうち、親が子供をフランス語圏の学校で教育を受ける権利を保障するものはどれか？」と問い、解答の選択肢は次のとおりである。

A. 結社の自由 B. 公用語権 C. マイノリティ言語教育の権利 D. 良心と信教の自由

正解は C であるが、何を何のために保障した結果を示しているのか、ということを考え、判断した上で回答しなければ B か C か迷うところである。また、憲章に保障されている権利が、実質的にはどのような場面でどのように具現化されるのか、ということまでを理解していなければ答えに迷う問題であろう。Q1 に関しては難易度が低いため、少々わかりにくい

かもしれないが、他にも Q21 は「次の行動のうち、アルバータ州の市民の権利と責任の両方であるのはどれか？」といった設問がある。解答の選択肢は以下の通りである。

- A. 選挙での投票 B. アルバータ州の法律の遵守 C. コミュニティで他の人を助ける D. 英語とフランス語で教育を受ける

これらは民主主義社会において権利とは何で、責任とは何かを理解した上で、それを具体的な行為に当てはめて理解している必要がある設問なのである。このように、理念や概念、システムなどを定義的に理解しているだけではなく、現実的にどのようなことを意味するのか、ということまでを具体的に理解し、正しく判断できることが求められているのである。他には、小学校6年生のレベルと考えると極めて難易度が高いと思われるものの、早い段階から政治システムについて現実的に理解することを目指していることがわかる。例えば、Q15 は「アルバータ州エドモントンの地方選挙に出馬するための要件を満たす人を特定するのは次のうちどれか？」という問いである。解答の選択肢は以下の通りである。

- A. 私はカルガリーで生まれ、1年前にエドモントンに引っ越しました。20歳です。
B. 私は日本で生まれ、1ヶ月前にエドモントンに引っ越しました。21歳です。
C. 私はエドモントンで生まれ、ずっとここに住んでいます。17歳です。
D. 私は25年前にインドで生まれ、4年前にカナダ市民になりました。エドモントンには2ヶ月住んでいます。

というものである。これは地方選挙に立候補するための要件をすべて知っている上で、判断する必要がある。また、Q40 では「イロコイ連合の女性はイロコイ連合の意思決定プロセスに影響を与えました。なぜなら女性は以下のことを選択したから」という設問であり、選択肢は以下の通りである。

- A. 代表議会が会合する場所
B. 代表議会によって議論されることになる問題
C. 代表議会で各国を代表する首長
D. 各国が代表議会に派遣できる代表者の数

そして、最後の問題 Q50 は次のような設問となっている。「次のうち、イロコイ連合における平等の最も良い例はどれですか？」

- A. 首長は敬意を持って扱われましたが、一族のメンバーを支配しませんでした。
B. 一族の母の義務は、母から娘へと引き継がれました。
C. その霊的指導者は、一族のメンバーに大きな影響を与えました。
D. タスカローラ族は、オナイダ族の主張によって代表されました。

このように、アルバータ州では小学校6年生の段階で、民主主義という概念およびシステムを、具体的に現実に当てはめて理解した上で、男女やコミュニティ内の平等、互いを尊重する姿勢など、大切に継承していくべき民主主義の普遍的な理念やあり方について歴史や他の民族・社会などからも学び、共有することまでを主権者教育のゴールとして重視していると考えられる。

イ G9 の PAT に見るアルバータ州社会科が目指す主権者教育

G9 対象の PAT も 50 問の多肢選択問題から成る。解答時間は 80 分であるが、最長 160 分まで解答可能で、必要に応じてさらに 30 分までプラスできることとなっている。テストは、“Programs of Studies”の G9 の総括的成果規準である以下の二つに基づいて、二つのセクシ

ョンから成っている。

セクション1：総括的成果規準 9.1：カナディアン の課題：統治と権利：30問（50分）

セクション2：総括的成果規準 9.2：カナディアン の課題：カナダとアメリカにおける経済システム：20問（30分）

知識および理解とスキルおよびプロセスがこの多肢選択テストに統合されている。価値および態度に関しては、授業中の分脈において評価されることとなっている。

PATは【可（Acceptable standard）】と【優（Standard of excellence）】という二つの基準で評価される。具体的には以下のような基準である。

【可（Acceptable standard）】	【優（Standard of excellence）】
・立法プロセス、政府機関、国会議員と上院議員、政党、メディア、ロビー団体が市民に与える影響を判断するために、カナダの連邦政治システムに関する基本的な特徴を知っている。	・立法プロセス、政府機関、国会議員と上院議員、政党、メディア、およびカナダの連邦政治制度におけるロビー団体が、すべてのカナダ人のニーズをどの程度満たしているかを評価することができる。
・カナダの司法制度における市民や組織の役割と責任（陪審員の義務、法律の知識、権利擁護など）を特定し、青少年刑事司法法の意図を理解する。	・カナダの司法制度の有効性は、青年刑事司法法などの法律の執行が公正かつ公平であることを保障するために、市民や組織の参加にかかっていることを理解する。
・権利および自由に関するカナダ憲章がカナダにおける個人の権利の承認を促進し、職場の条件に影響を与え、市民に影響を与えるいくつかの方法を認識する。	・個人の権利がすべての市民にどの程度保障されているかを評価することにより、権利および自由に関するカナダ憲章がカナダの立法プロセスに与えた影響を判断できる。
・カナダにおける集団的権利の承認に関連する歴史的要因を理解し、フランス語圏と先住民、メティ、イヌイットの人々のためのこれらの権利の行使の政治的意味を認めることができる。	・歴史的出来事 の理解を現代の問題に適用することにより、フランス語圏とアボリジニの人々の集団的権利の承認に対する需要の増加がカナダの立法プロセスにどのように影響したかを評価することができる。
・カナダの移民政策と難民政策に関連する基本的な要因（経済、政治、健康、安全など）を特定し、移民のメリットを認識する。	・複数の視点から移民の、州、国、および世界への影響を分析し、カナダの立法プロセスが移民の新たな問題にどのように対処するかについて判断を下すことができる。
・政府、消費者、労働組合の役割を理解することにより、市場経済と混合経済の基本的な特徴を理解し、希少性の基本的な経済問題がカナダと米国の経済システムによってどのように対処されているかを理解する。	・カナダと米国の経済システムに基づいている原則と慣行を分析することにより、市場経済と混合経済への政府の介入が市民の生活の質に与える影響を評価することができる。
・消費主義、マーケティング、および社会プログラムがカナダと米国の経済に与える影響を分析するために、生活の質の基本的な指標を検討する。	・個々の消費者行動の根底にある社会的価値と、カナダと米国における社会プログラムの提供を批判的に分析して、消費主義が生活の質にどのように影響するかを判断することができる。
・政治的決定と経済システムが、政党、地下経済、および環境問題がカナダと米国における生活の質に及ぼす影響に関して相互に関連していることを理解することができる。	・政治的決定と、カナダと米国の経済システムとの相互関係を評価するために、政党の綱領、地下経済、および環境問題の重要な要素を分析することができる。
・個人的な視点を形成するために、異なる視点および/または	・多様な視点やパースペクティブの包括的な理解を増進する

パースペクティブから問題を検討する際に、批判的かつ創造的な思考を実践する。	ために、多様な資料からアイデアをまとめ、批判的かつ創造的に考えることができる。
・図、年表、地図、表、グラフなどを解釈して歴史的な出来事や問題を理解するとともに、地理的情報を分析することができる。	・さまざまな資料からアイデアを分析して、時間と場所の異なる文脈における問題を検討し、相関関係と因果関係を発見することができる。
・問題を解決するための前向きなアプローチの影響を予測することによって、意思決定と問題解決のスキルを行使することができる。	・問題解決と意思決定の戦略を利用して、結果を予測し、新しいアイデアを探究し、選択肢や行動計画を評価することができる。
・メディアメッセージの内容を理解し、そこで表現されている視点を認識する。	・メディアメッセージの権威と信憑性を吟味し、表現されているさまざまな価値観、ライフスタイル、視点を分析することができる。

Alberta Education, Provincial Assessment. (2022b) *2022-2023 Social Studies 9 Subject Bulletin*. pp. 2-3. Minister of Education, Alberta Education.

また、以下の設計図は、各設問が分類されるカテゴリを示している。各カテゴリの設問数は公刊されている資料の最新版である 2018 年の結果である。

カテゴリ (カリキュラムの内容領域)	知識および理解 問の数	スキル・プロセス 問の数	問の数 (%)
政治的および司法システム (9.1.4,9.1.5)	4 (8)	7 (14)	11
※	Q1,2,5,9	Q3,4,6,7,8,10,11	(22)
個人的および集団的権利 (9.1.6,9.1.7)	4 (8)	7 (14)	11
	Q12,16,19,20	Q13,14,15,17,18,21,22	(22)
移民 (9.1.8)	3 (6)	5 (10)	8
	Q22,24,27	Q25,26,28,29,30	(16)
経済的意思決定 (9.2.4)	3 (6)	5	8
	Q31,32,35	Q33,34,36,37,38	(16)
消費主義、生活の質および政治的意思決定 (9.2.5,9.2.6)	5 (10)	7 (14)	12
	Q39,40,43,44,47	Q41,42,45,46,48,49,50	(24)
問の数 (%)	19 (38)	31 (62)	50 (100)

Alberta Education, Provincial Assessment Sector. (2020) *Grade 9 Released 2018 Alberta Provincial Achievement Test Social Studies Sources & Questions*. p.1. Minister of Education, Alberta Education. ※括弧内の数字は、各カテゴリに対応する“Programs of Studies”における具体的成果規準の番号である。

G9 は、資料冊子と解答冊子に分かれており、複数の資料を読み取り、適切に活用しながら考察し、判断し、適切な答えを導き出す力が求められる設問となっている。例えば Q1～4 は、資料冊子 4～5 頁の資料 I～III を活用して解答する。Q1 は「資料 1 の『カナダ総督』という見出しの下にある疑問符を正しく置き換えているのは、次のどのフレーズですか？」とあり、選択肢は以下の通りである。

- A. 上院議員です
- B. 選挙区の有権者を代表する
- C. 下院議員である
- D. イギリスの君主を表す

Q2も類似した設問であり、これらの問いはシンプルに、知っているかどうかの問いであるが、Q3では「資料3のどの個人のコメントが、資料2の情報に最も直接的に関連していますか?」という問いである。ここでの資料2とは「2015年3月31日に終了した予算年度のカナダ総督府の運営費」を示したものであり、資料3とは「カナダに総督は必要か?あなたの意見は?」という仮想のWeb掲示板に寄せられた4つのコメントである。また、Q4では「三つの資料をまとめると、次の問題のうち、どれを最も明確に扱っていますか?」という問いとなっている。

- A. カナダ総督は有権者によって選出されるべきか?
- B. カナダ総督は政治的に中立であるべきか?
- C. カナダ総督は市民の利益にどの程度貢献しているか?
- D. 政党は、カナダ総督の決定にどの程度影響を与えるか?

このように、順序立てて資料を読解させた上で、複数の資料から必要な情報を適切に活用して、正しく判断する力を見ようとしていると考えられる。

特に強調されるのは、「さまざまな」資料や「多様な」視点、パースペクティブの吟味であり、それらを調査し、批判的かつ創造的に分析し、吟味した上で、まとめ、評価する力である。アルバータ州が設計する社会科の最終目標としては、そうした多様な視点、パースペクティブを吟味した上で、一人一人が責任をもって判断し、意思決定する力の涵養を目指している。これこそが多文化社会において多様性の中で一人一人を尊重しながら共生する上で不可欠なシティズンシップの一つであると言える。なお、G9の段階では、そうした判断の基盤となる、多様な情報を適切に読解し、まとめ、評価する力の涵養を目指しているということが言えるだろう。

ウ ディプロマテストから見るアルバータ州社会科が目指す主権者教育

ディプロマ・テストは、30-1、30-2ともに、いわゆるレポート課題 (Written Response) と多肢選択問題の二つのパートから成る。レポートについては、30-1の生徒は二つの執筆課題、30-2の生徒は三つの課題に分かれている。30-1の課題1は【資料解釈】、課題2は【意見表明 (Position Paper)】である。30-2の課題1は【社会科に関する知識と理解を証明するための課題】であり、課題2は【三つの資料を解釈し、これらの資料からの内容と社会科に関する知識と理解を活用して、ある立場を擁護する課題】である。課題3は【問題を調査し、問題に関する様々な視点を分析した上で、問題に対する立場を説明し、擁護する応答を作成するという課題】である。レポート課題のパートはディプロマ・テストの合計点数の50%に相当する。30-1の試験は3時間、30-2の試験は2.5時間で完了するように作成されているが、必要に応じて、30-1は最長6時間、30-2は最長5時間まで許容されている。多肢選択式の問題は、60問で構成されており、合計点の残りの50%に相当する。30-1、30-2ともに解答時間は2.5時間で完了するように作成されているが、必要に応じて、最長5時間まで許容されている。

生徒用ガイドによると、ディプロマ・テストの準備として最も効果的な方法は、授業での

経験に積極的に参加することであり、授業中に課題を完了する際に練習するスキルが、ディプロマ・テストで必要とされるスキルと同じであると強調されている。また、30-1 コースについては、次のようなことが強調されている (Provincial Assessment, 2022c, p.3)。30-1 コースの学習プログラムの目標は、積極的で活動的、情報に通じた責任ある市民になるための知識とスキルを身につけることであり、“Programs of Studies”が含んでいるカナダの文脈におけるシティズンシップとアイデンティティの概念は、多様なパースペクティブの強調とスキルを基盤とした、課題中心型のアプローチによって表現されている。このディプロマ・テストは、そのプログラムの目標を反映しているとし、生徒たちに、日頃から世界の主要な出来事に関する最新の情報に触れておくこと、そのために、以下のことに従事するようアドバイスしている。

- ・ 歴史的および現在の出来事の両方の学習に従事すること。
- ・ イデオロギー、複数の視点および諸問題の間の関係性について考えること。
- ・ 重要な諸課題について議論すること。

例えば 30-1 コースのレポート課題における課題 1【資料解釈】において求められるのは、さまざまな資料が提示された場合に、解釈、分析、統合のスキルを実践する力である。具体的には、「資料解釈 (12%)」三つの資料を解釈して、各資料が自由主義にどのように関連しているかを理解していること、「関係性 (8%)」三つの資料全ての間にある関係性をまとめること、そして文章力「コミュニケーション (2%)」である。課題 2【意見表明】において求められるのは、一つ目に「資料分析 (6%)」書かれた内容に応じて分析、評価、まとめることのできるスキルを実証できることである。資料に反映されているイデオロギー的観点の理解を証明するために全ての資料を分析することである。次に「議論 (8%)」であり、資料に反映されているイデオロギー的観点に関する問いに答えて、彼らの立場を主張することである。そこにおいて生徒は、理論的、歴史的、現代のおよびまたは現在の出来事に焦点を当てた証拠を使って自分の立場を支持することが求められる「証拠 (8%)」。そして文章力「コミュニケーション (8%)」である (Provincial Assessment, 2022e)。これらはすなわち、多様な視点やパースペクティブを適切に理解した上で、分析、吟味、評価し、自らの考えを構築すること、それを的確に表現できる力である。これらのスキル、価値・態度こそが、多様性の中で民主主義的に共生していく主権者としての実践力として、重視されているのだと考える。

5 特記事項

アルバータ州は高い教育の質を保つために、こうした定期テストの結果などを丁寧に分析して学校現場や保護者に対してフィードバックすることをはじめとして、「アルバータ州教育保証 (Alberta Education Assurance) 調査」、「州満足度調査 (Provincial Satisfaction Surveys)」他、さまざまな調査を実施するとともに、教育者がさまざまなニーズを持つ生徒たちに対応した、包摂的で親しみやすく、安全かつ敬意とケアに富んだ学習環境を提供できるよう支援するさまざまなプログラムや情報・訓練の機会の提供などを、積極的に実施している。

6 日本への示唆 (提案)

カナダが先進的に多文化共生に取り組んできたことは、すでに周知のことであるが、民主主義社会において多様性と統合を両立すること、ならびにマイノリティをマジョリティ側が

対等に尊重し承認することは、そのカナダでも古くて新しい課題であり続けている。しかし、その多様性を個人レベルで実感させ、互いに承認し、対等に承認することでこそ、異なりを乗り越えた「結束」を生み出そうとするアルバータ州の社会科のあり方から、いまだ多様性の尊重に取り組む段階にある日本が、近い将来同様の課題に直面するであろうその時に備えて得る示唆は、極めて大きいと考える。

参考文献

- Alberta Education, <https://www.alberta.ca/k-12-education.aspx> (2022/12/31 最終閲覧)
- Alberta Education. (2005). *Social Studies Kindergarten to Grade 12 Program of Studies*. <https://education.alberta.ca/media/159594/program-of-studies-k-3.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Assessment Sector. (2015) *Released 2013 Achievement Test Social Studies 6 Subject Bulletin*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-pat-social6-released-items-2013.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Provincial Assessment Sector. (2020) *Grade 9 Released 2018 Alberta Provincial Achievement Test Social Studies Sources & Questions*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-ss9-released-provincial-achievement-test-2018.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Provincial Assessment. (2022a) *2022-2023 Social Studies 6 Subject Bulletin*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-social-studies-6-subject-bulletin.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Provincial Assessment. (2022b) *2022-2023 Social Studies 9 Subject Bulletin*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-social-studies-9-subject-bulletin.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Provincial Assessment. (2022c) *A guide for Students Preparing to Write the Diploma Examination, Social Studies 30-1*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-social-studies-30-1-guide-for-students.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Provincial Assessment. (2022d) *A guide for Students Preparing to Write the Diploma Examination, Social Studies 30-2*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-social-studies-30-2-guide-for-students.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Alberta Education, Provincial Assessment. (2022e) *Social Studies 30–1 Information Bulletin 2022–2023*. <https://www.alberta.ca/assets/documents/edc-social-studies-30-1-info-bulletin.pdf> (2023/2/28 最終閲覧)
- Elections Alberta, <https://www.elections.ab.ca> (2022/12/31 最終閲覧)

坪田益美 (東北学院大学)